

プレス発表資料

平成24年8月3日
独立行政法人 防災科学技術研究所

今ここで地震が起きたらどうなるか？を簡易表示する スマートフォンアプリケーション『もしゆれ』を公開

独立行政法人防災科学技術研究所(理事長:岡田義光)は、8月、本年度3本目となる防災アプリケーション『もしゆれ(正式名称:もしもいまここで大地震の揺れに見舞われたらワタシはどうなる?)』(以下、本アプリ)を公開します。

本アプリは場所毎の地震ハザード(危険情報)を取得し、その場所で起こりうる被害の可能性を伝えることで、平常時のユーザの防災・減災行動を喚起することに焦点を当てたiPhone(iOS)アプリケーションです。

本アプリを起動し判定カメラボタンを押すと、GPS等で取得した位置情報を元に、今ここで大地震が発生した場合に実際に起こりうる被害の種類について、自分の顔写真と重ねて17種類の被害結果画像(建物倒壊や家具倒壊、津波や液状化など)を表示します。

1. 内容: 別紙資料による。
2. 本件配布先: 文部科学記者会, 科学記者会, 筑波研究学園都市記者会

【内容に関するお問い合わせ】

独立行政法人防災科学技術研究所
社会防災システム研究領域
災害リスク研究ユニット
東 宏樹(あづま ひろき)
電 話: 029-863-7857
携帯電話: 080-4325-4503
メールアドレス: azzie@bosai.go.jp

【発表に関する連絡先】

独立行政法人防災科学技術研究所
社会防災システム研究領域
アウトリーチ・国際研究推進センター
アウトリーチグループ
大石、松宮
電 話: 029-863-7783
F A X: 029-851-1622

今ここで地震が起きたらどうなるか？を簡易表示するスマートフォンアプリケーション『もしゆれ』を公開

- 『もしゆれ』 概要紹介 -

『もしゆれ（もしもいまここで大地震の揺れに見舞われたらワタシはどうなる？）』について

『もしゆれ』は、防災科学技術研究所の提供する全国地震ハザードの公開API（J-SHIS Web API <http://www.j-shis.bosai.go.jp/api-list>）と自分撮りカメラのマッシュアップアプリです。日本では、常日頃から大きな揺れに備えるべきです。大地震の時、今いる場所で自分の身に何が起こるかを具体的にイメージすること。そこから地震対策の準備は始まります。あらかじめできる対策は何か、いざという時どうすればいいか考えるきっかけとして、防災にお役立てください。

■ 本アプリの機能と特徴

このアプリの主な機能と特徴をご紹介します。

【自分撮りAR】

結果をユーザの自画像に重畳するAR（拡張現実）的な表示方法を採用しました。

これは、使用者が自覚を持って、地震による被害を直感的に把握するためです。

【1タップ操作】

子供からお年寄りまで誰もが簡単に使えるよう、操作の単純性にこだわりました。

結果を表示するためには、たったの1タップ、「判定ボタン」を押すだけです。

【J-SHIS Web API 参照】

元データとして使用している地震ハザード情報はJ-SHIS API を用いて取得しています。

250m 毎の地震や地盤の情報を、精度や情報量のフィルタリングを行い利用しています。

【結果はソーシャルでシェア】

結果画像はFacebook, Twitter を通じて友人や家族などにシェアすることができます。

自分の家で、よく行く場所で、旅行先や自分の普段いる場所以外でも、試して共有しましょう。

■ 本アプリが担っている社会的な役割

このアプリが目指し、変化を起こそうとしている方向性は、以下の3つです。

1. 地震は遠くの事と捉えがち→地震を直近の自分のこととして捉え行動できるようになる
2. J-SHIS API をはじめとする防災 API の存在を知ってもらう→アプリ開発者の開発を促進
3. 防災に関する話題を一般化・日常化→防災減災対策に取り組むことの敷居を下げる

■ 簡単な説明：iPhoneアプリ、『もしゆれ（もしもいまここで大地震の揺れに見舞われたらワタシはどうなる？）』は、いまあなたがいる場所で大地震の揺れに見舞われたら、どんな被害を受ける可能性があるかをお伝えいたします。

■ 解説ページ URL：<http://www.ifearthquake.bosaiapp.com/>

※iPhoneはApple社の登録商標です。FacebookはFacebook, Inc. の登録商標です。

- 『もしゆれ』イメージ画像-



アイコン

起動画面



チェック画面



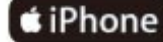
結果画面

結果解説画面



対応機種

必須アイテム



もしもいまここで
大地震の揺れに
 見舞われたら
ワタシはどうなる？



地震の被害をリアルにイメージ。

iPhoneアプリ「もしゆれ（もしもいまここで大地震の揺れに見舞われたらワタシはどうなる?）」は、

- いまあなたがいる場所で大地震の揺れ（震度6弱以上）に見舞われたら、**どんな被害を受ける危険性があるかをシミュレーション**します。
- もしもの時、自分の身に何が起るかを具体的にイメージしながら、**あらかじめできる対策は何か、いざという時どうすればいいかなど**考えたり、**あるいは対策の準備**をしたりして、防災にお役立てください。

特徴 ①

写真を撮ってリアルに実感!

判定するのはズバリ「もしもいまここで大地震の揺れに見舞われたらワタシはどうなる?」ということ。
 写真の中のあなたを見舞うのは建物倒壊? 液状化?

判定ポイントをアップ!



判定ポイントをアップ!

特徴 ②

今いる場所のデータで判定!

判定の基準（詳しくは「（もしゆれ）の判定方法について」参照）には、いまいる場所に
 関係した各種データが盛り込まれています!

この場所が安全かな?



この場所が安全かな?

特徴 ③

結果写真を友達にもシェア!

結果写真はTwitterやFacebookで友達とシェアすることができます。自宅や勤め先、通勤・通学路などの判定結果をシェアして防災に役立てましょう!



TwitterやFacebookで友達とシェア!

本アプリに関するお問い合わせは・・・

独立行政法人防災科学技術研究所
 担当：東宏樹 <azzie@bosai.go.jp>

